

自然保護指導員 研修会・公開講演会のご案内



公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会（JMSCA）では、自然保護指導員制度を定め、日本の山岳各地の自然環境の保全に寄与する活動をすすめています。この研修会は、既に自然保護指導員で活躍している方々、これから自然保護指導員を志す方々に向け、自然保護指導員としてのあり方や自然への一層の理解などにつき研鑽の機会を提供するものです。なお、この研修会は公開講演会として山岳自然保護に関心のある方はどなたでもご参加いただけます。

基調講演では、「登山道は誰が整備し、誰が管理しているのか」と題して森孝順氏にお話いただきます。

記

1. 日時：2022年1月29日(土) 13:30~16:30

オンライン配信 (zoom) により実施

2. 対象：自然保護指導員／山岳自然保護に関心のある方

定員100名(応募者多数の場合は抽選となります)

2022年3月末に自然保護指導員資格更新が必要な方と昨年度更新手続きが未了な方は、更新のための条件になりますので、優先的に受講できます。

3. プログラム：

- ・自然保護指導員制度について JMSCA自然保護委員会より報告
- ・関東地区各県岳連自然保護委員会活動報告、など

基調講演 「登山道は誰が整備し、誰が管理しているのか」

森 孝順 氏 (山はみんなの宝クラブ副代表、登山道法研究会副代表 他)

講演概要： 国土の7割は山域であり、日本は山国である。この広大な地域に野外レクリエーションのための登山道が存在するが、法的根拠は曖昧のままに利用されてきた。

本講演では、登山道に関して、整備の費用負担、管理責任、整備水準、自己責任、受益者負担、ルールとマナーなどの課題について話題提供をする。

講演者紹介： 環境庁のパークレンジャー(国立公園管理官)として、全国各地の国立公園管理に従事。JICAの国際協力に参加し、フィリピン、マダガスカル、マレーシア・ボルネオ島、コスタリカなどの自然保護区の管理への協力。現在、「登山道法研究会」に参加して、登山道問題について普及啓発活動に努めている。

4. 参加費： 無料

5. 申し込み方法：下記 URL または QR コードよりお申込みください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScV-fYnhsZ9HUziPRd0978Xl9uJhVGQ5xM_04WsrrS0uwlZDQ/viewform

締め切り：2022年1月16日(日)

6. 問い合わせ先：(公社)東京都山岳連盟 事務局

電話：03-3526-2550 (月、水、金 13時~17時)

E-mail：shizen@togakuren.com (自然保護委員会更新手続き担当)



メールには、①氏名 ②所属団体名 ③連絡先をご記入のうえお送りください。